

歯と口の健康フェアを終えて

歯学科6年 郡 司 敏 宏

6月10日（日）にイオンモール新潟南にて新潟市・新潟市歯科医師会主催の「歯と口の健康フェア」が開催されました。参加団体は主催団体に加え、県歯科衛生士会、市歯科技工士会、県栄養士会新潟支部、市薬剤師会、日本歯科大学新潟生命歯学部、新潟大学歯学部で、本学からは大島邦子先生（小児歯科学分野）と歯学科6年生5名が参加しました。

今年のテーマは『健口（けんこう）になろう！健康のために!!』でした。市民の方々に歯科医療を身近に感じていただき、自身やご家族の口腔内の健康と全身の健康について考えていただけるよう、各団体がそれぞれブースを出し合い、様々な企画を実施しました。

本学の歯学科6年生は、総合案内およびアンケート調査、歯に関するクイズ、口臭測定と口臭相談、フェア参加者募集のための呼び込みを担当しました。クイズコーナーは学生が皆で考えた〇×クイズを持ち寄り、参加者に答えていただきながら解説するというものでした。今回、僕は主にクイズコーナーと参加者募集を担当しました。

今回のフェアの参加者は、会場の関係でファミリー層が多く、子どもからその祖父母の世代まで幅広い年齢層の方々がいらっしゃいました。そのため、クイズの問題も易しいものから少し難しいものまでさまざま用意し、その解答を通して健康について一緒に考えていきました。クイズを出すだけでなくその解説もするのですが、様々な年齢の方がいるので、特に子どもたちにクイズを出すときは、どんな言葉で伝えればわかってもらえるか、普段の臨床実習とはまた違った形で、使う言葉を選ぶ必要がありました。戸惑うこともありま

したが、非常に勉強になる機会でした。参加者の方々とクイズのやり取りは和気あいあいとしていて、楽しみながら口と全身の健康について考えていただくことができたのではないかと思います。

参加者の募集、呼び込みはただ道行く人たちに声をかけるだけでなく、トッキッキというキャラクターの着ぐるみを着て行うこともありました。そのような活動の甲斐があっただけでなく、多くの方に参加していただけただけでなく、参加はしなくても、フェア自体の存在を知ってもらい、コーナーの外にあるパネルや映像を見るなど、少しでも関心をもってもらうことにつながることでもできたと思います。声をかけてみると、ブラッシングの齶蝕予防効果についてのビデオを熱心に見てくださる方もいれば、娘さんの歯並びについて気にしている方もいました。また、口臭測定に興味を持たれる方もいました。その事実を通じて、市民の方々が歯科に対して抱いているニーズはそれぞれであることを僕は改めて知りました。また、患者さんのニーズに歯科医療が応えることができるということを知ってもらう為にも、今回のフェアは非常に意義深いものだと思います。

フェアを通じて、また参加者との交流を通じて、普段の実習では学べない、市民の方々が歯科にどのようなイメージを持ち、どのようなことを望んでいるのかについて、わずかながら知ることができました。また、普段お話しすることのない開業医の先生方や、歯科衛生士の方々、技工士の方々とお話しでき、自分の知らないことを学んだり、逆に知識不足を実感したり、また将来について考える機会をいただきました。この経験は、残りわずかとなってしまいましたが、臨床実習や、

その先にある実際の診療の現場で生きるものだと思います。今回、フェアに参加させていただいた

ことを感謝するとともに、今後もこのような活動を継続していただきたいと思います。



お子さんたちにクイズを出す筆者



トッキッキと筆者



本学からの参加者 5 名